

特定外来生物

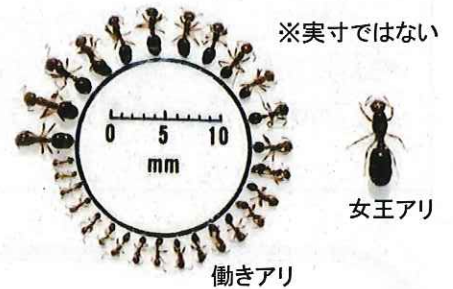
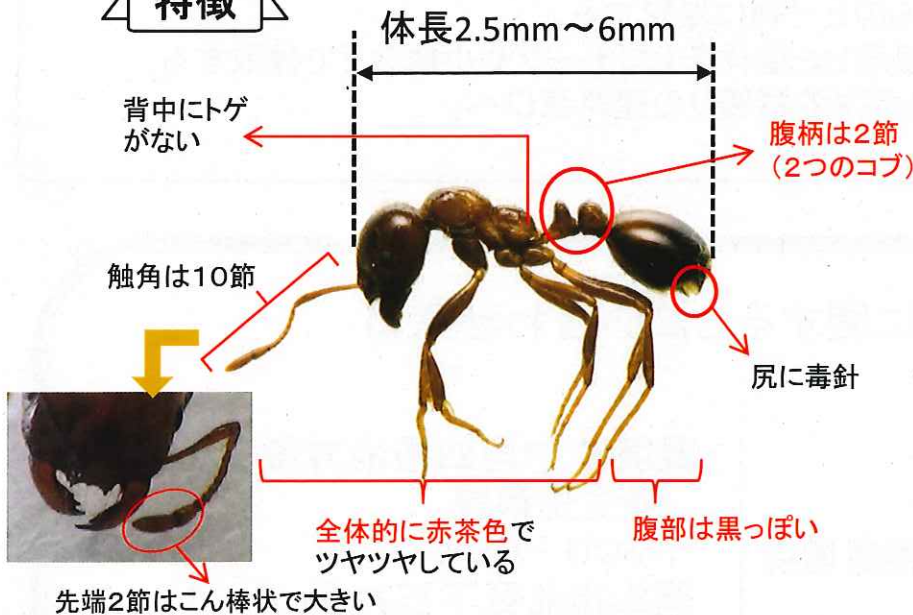
ヒアリ にご注意!!



ヒアリの生態

- ・原産地は南米。米国、オーストラリア、マレーシア、中国、台湾など環太平洋諸国に定着。
- ・亜熱帯～暖温帯に生息し、草地など比較的開けた環境を好む。
- ・土で直径25～60cm、高さ15～50cmのドーム状のアリ塚を作る。
- ・極めて攻撃的で、巣を刺激したりすると集団で襲いかかる。ペットや家畜での被害報告もある。
- ・刺されると、火傷のような強い痛みがあり、海外ではアレルギー性ショックによる死亡例の報告もある。

特徴



S.D.Porter, USDA-ARS

※2.5mm～6.0mmと大小様々な働きアリが混在しているのが特徴

※直径25～60cm、高さ15～50cmのドーム状のアリ塚を作る

ヒアリかな?と思ったら

- ・絶対に素手では触らない! (殺虫後も毒針に注意)
- ・踏んだり、巣をつつくなど、いたずらに刺激しない!
- ・市販のスプレー殺虫剤などで殺虫した後、最寄りの役場等へ連絡する。(裏面参照)
- ・もしも、ヒアリに刺されたら、熱い!と感じるような激しい痛みがあります。
 - 軽度: かゆみ、膿
 - 中度: 数分～数十分後に、腫れ、じんましん
 - 重度: 数分～数十分後に、アナフィラキシー症状(呼吸困難、血圧低下、意識障害)
- ・まずは安静にし、異変を感じた場合は、直ちに最寄りの病院を受診してください。(※ハチ毒アレルギーなどアナフィラキシーの危険がある方はすぐに病院を受診してください。)

発見時の連絡について



<通報時の内容>

- ・発見場所、状況等
- ・個体の色、大きさなどの特徴(分かる範囲で)
- ・撮影した写真データや採取した現物を送付してください

【手順】

- ・ヒアリと疑われるアリを見つけたら、最寄りの市町村役場又は県自然環境課へ。
- ・市販の殺虫剤などで殺虫処理した個体をデジカメの接写モードで大きく撮影する。
 - * 表面に記載した特徴が分かるように横から角度を変えて何枚か撮影する。
 - * 物差しなど寸法の分かるものと一緒に撮影する。
- ・撮影が困難な場合は、殺虫処理した個体をセロテープや小瓶などで採取する。
- ・上記の写真データや採取した現物を最寄りの連絡窓口へ。

「ヒアリ」に関するお問い合わせ窓口

・最寄りの市町村役場

・岡山県 環境文化部 自然環境課

〒700-8570

岡山市北区内山下2-4-6

☎ 086-226-7309

E-mail sizen@pref.okayama.lg.jp

・環境省 中国四国地方環境事務所
野生生物課

〒700-0907

岡山市北区下石井1-4-1

岡山第2合同庁舎11F

☎ 086-223-1561

E-mail REO-CHUSHIKOKU@env.go.jp

※ヒアリに関する詳細な情報は「ストップ・ザ・ヒアリ(環境省)」を参照ください。

https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/files/r_fireant.pdf

その他のヒアリに関する情報は環境省ホームページをご覧ください。

<http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/fireant.html>

岡山県・環境省中国四国地方環境事務所